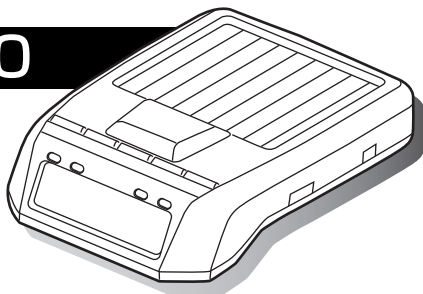




GL750



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

●ご使用上の注意	2~3	●警報について (レーダー)	25
●各部の名称	4~5	●警報/設定について (7バンド+パトロールエリア)	
●ご使用にあたって	6~8	・7バンド受信切替えについて	26
●取付け方法	9~10	・カーロケ受信警報	27
●操作方法		・取締り用連絡無線(350.1Mz)受信警報	28
・電源を入れる	11	・ヘリテレ無線受信警報	28
・オートパワーオフ機能	11	・署活系無線受信警報	29
・音量調整 (ミュート機能) とバッテリー状態を確認する	12	・デジタル無線受信警報	29
・各機能のON/OFF設定	13	・JH無線受信警報	30
・アラーム警報音(ブザー/メロディ)の切替え設定	14	・W.I.D.E(ワイド)無線受信警報	30
・レーダー受信感度の設定(ASC-V/i)	15~16	・パトロールエリア受信警報	30
・振動センサーの調整(LSC-V/i)	17	●便利な機能	
・データリセット(すべてのデータ消去)	18	・おまかせ機能	31
・衛星リセット	18	・時計表示機能	32
・データ更新	18	・速度表示機能	32
・ロードセレクト機能	19	・コンパス機能	33
・ユーザー登録ポイント追加機能	20	・オートディマー機能	33
・オービス警報キャンセル機能	20	・オートボリュームダウン機能	33
・レーダーキャンセル機能	21	・ディスプレイモード (販売店向け)	33
●警報について (GPS)		●取締りの種類と方法	34~35
・オービス/ユーザー登録ポイント警報	22	●故障かな?と思ったら	36
・Nシステム/NHシステム警報/設定	23	●製品仕様	36
・チェックポイントによる警報	24	●メモ	37
・警察署ポイントによる警報	24	●さくいん	38
・サービス/パーキングエリア警報	24	●保証規定	39
		●保証書	裏面

ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

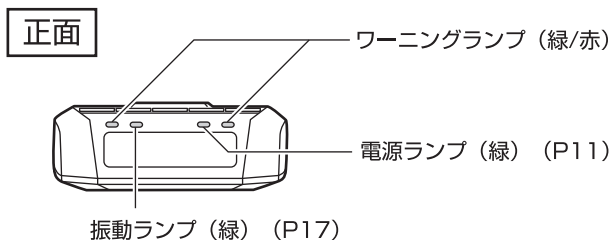
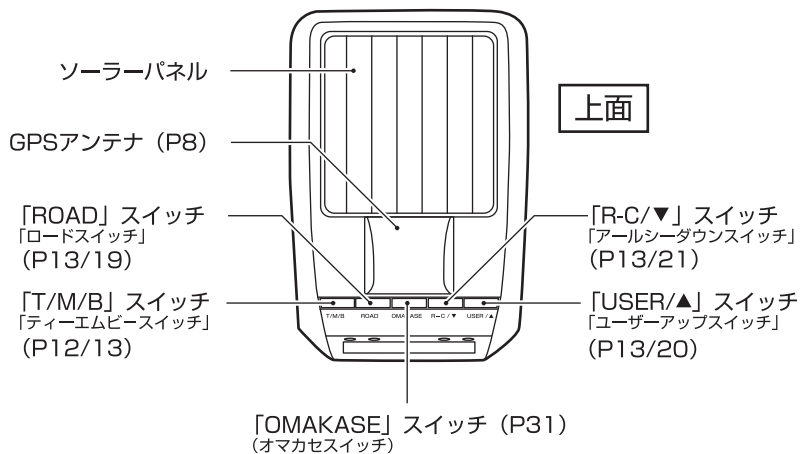


注意

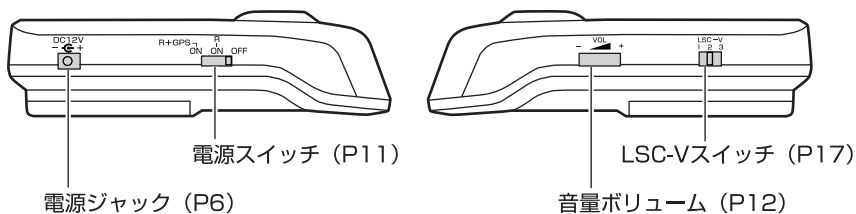
- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が働かない為、GPSによる警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
- 車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。その様な場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けて下さい。
- 本製品の受信機能は仕様書に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 本製品のGPS警報は予め登録されたオービス・Nシステム・チェックポイント・警察・SA/PA（サービスエリア/パーキングエリア）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。また、シガープラグコードを接続しないと警報しない機能があります。
- 一部ナビゲーションシステムで漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信する事があります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信する事がありますが、誤動作ではありません。予めご了承下さい。（自動ドア・防犯センサー・車輻通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダの一部。）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS衛星とレーダー波の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは約5年が交換時期の目安となりますが使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付け下さい。
- 本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードを接続してご使用下さい。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承下さい。
- 本製品はDC12V車専用です。（DC24V車へのお取付はできません。）
- キーをOFFにした時、シガープラグに電源がOVにならない車輛（外車など）は車輛バッテリー保護する為、エンジンを始動していない時は、必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、又は弊社オプションのSS-063電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続して下さい。

※本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

各部の名称 (製品本体)



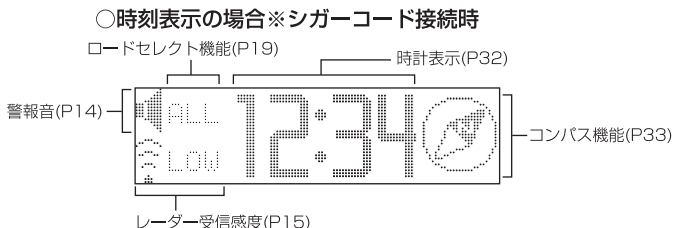
側面



各部の名称 (液晶表示) (梱包内容)

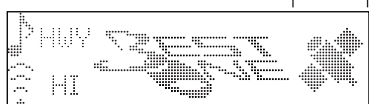
●液晶表示

■待機表示



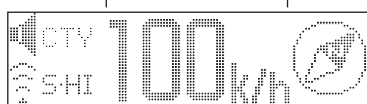
○ソーラーバッテリーのみで使用の場合

衛星受信表示



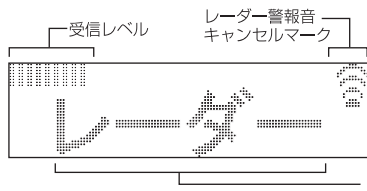
○速度表示の場合※シガーコード接続時

速度表示(P32)

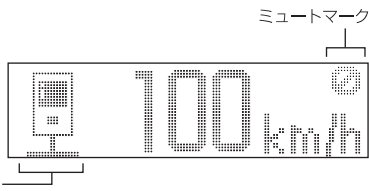


■警報表示※警報中は文字表示とイラスト表示が交互に表示します。

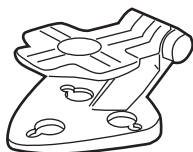
○レーダー波/7バンド受信の場合



○オービス等の受信の場合



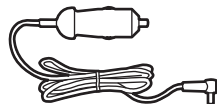
●梱包内容



ステアー (1個)



ステアー止めネジ (1個)



シガープラグコード (1個)



平ワッシャー (1個)



スプリングワッシャー (1個)



両面テープ (1枚)

ご使用にあたって

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

- 本製品は、商品出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、**エンジンをかけて4時間以上充電してください**。(充電は断続的に行う事も可能ですが、その場合、目安として8時間以上充電してください)
- 通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただし下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグコードを使用して定期的に充電を行ってください。
 - 1.屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
 - 2.冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
 - 3.高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
 - 4.夜間走行の頻度が多い。
 - 5.全ての機能をONにした状態で長時間使用する。
- 本製品に搭載しているGPS受信機能は、従来のレーダー探知機に比べより多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。また、ソーラーバッテリーで動作時は全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガープラグコードを接続してご使用する場合は連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。
- 車輛のシガープラグ接続で充電が困難な場合（長いエンジン始動ができない場合など）弊社オプションのSS-065 AC100V専用充電器で家庭用（100V）コンセントから充電することができます。

◇ローバッテリーサイン

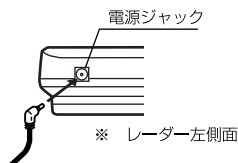
- ローバッテリーサイン…内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、2段階の表示でお知らせします。（下記表参照）

内蔵バッテリー状態	機能・ランプ	アナウンス
充電40%以下	GPS機能を停止します。	ブービー バッテリーチェック GPS機能停止します。
充電20%以下	全受信機能を停止します。	ブービー バッテリーチェック 充電を行って下さい。

※バッテリー充電が20%以下の場合には使用状況によっては突然、全機能を停止する場合もあります。

◇充電の方法

- ① 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。
- ② 車輛シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。
- ③ 車輛のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



ご使用にあたって

◇ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作

●本製品は、ソーラーバッテリー動作時はより長時間動作するよう、またシガープラグコード接続時はより安定動作を行い、GPS機能をフル活用できるように設計されています。ソーラーバッテリー動作、シガープラグコード接続動作で下記表の機能が変わります。

	ソーラーバッテリー動作		シガープラグコード動作 ※接続時	
	レーダーのみ	レーダー+GPS	レーダーのみ	レーダー+GPS
電源スイッチ の位置 (P11)	R+GPS ON ON OFF 	R+GPS ON ON OFF 	R+GPS ON ON OFF 	R+GPS ON ON OFF
GPS受信 (P8)	—————	間欠受信	—————	連続受信
ASC機能 (P16)	ASC-V (振動センサー利用)	ASC-V (振動センサー利用)	ASC-V (振動センサー利用)	ASC-i (GPSデータ利用)
LSC機能 (P17)	LSC-V (振動センサー利用)	LSC-V (振動センサー利用)	LSC-V (振動センサー利用)	LSC-i (GPSデータ利用)
ローバッテリー サイン (P6)	表示あり	表示あり	表示なし	表示なし
時計表示 (P32) 速度表示 (P32) コンパス表示 (P33)	表示なし	表示なし	表示なし	表示あり
オービス警報 (P22)	—————	1Km手前より警報	—————	2Km手前より警報 ※高速のみ
警察チェック ポイント 警報 (P24)	アナウンスしない	アナウンスしない	アナウンスしない	チェックポイント 設定をONした場合 アナウンスする
SA/PA(P24) チェックポイント(P24) Nシステム(P23)	—————	アナウンスする	—————	アナウンスする
ユーザー登録(P20) レーダーキャンセル(P21)	—————	有効	—————	有効
7バンド無線	設定(P13)がONになっていれば常に有効			
液晶バックライト	・待機時、警報時は消灯。ボタン操作時は一定時間青点灯。ただしオートディマー作動時(P33)は警報時のみ橙点灯		・常に青点灯。警報時は橙点灯	

ご使用にあたって

◇GPS機能について

●GPSとは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

●GPSレシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います

●間欠動作システム

本製品をソーラーバッテリーでご使用の場合、長時間使用を行えるよう省電力設計をし、GPS受信を間欠動作させることでより一層、消費電力の軽減を行っております。その為、GPS機能（警報、登録等）において、若干の時間差が発生する場合があります。また、シガーコードを接続し有線使用して頂ければ、GPS受信を連続動作で行う為、より安定した状態でのご使用が可能です。

●衛星受信開始時間／受信復帰時間

GPSレシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができません、警報が行えない場合があります。注意してください。）

◇受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10秒以下	2秒程度
10秒～60秒	5秒程度
60秒以上	10秒以上

◇受信復帰時間

前回、電源OFFしてからの時間	衛星受信迄の時間
～5時間	～10秒程度
～数日間	～1分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～5分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

●衛星データのリセット

本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合、P18を参照して衛星リセットをしてください。

●GPS測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

●GPS衛星受信と車載テレビチューナー

車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

●登録データについて

データ作成年度・バージョンはパッケージ及び、本製品に記載しています。

（注）今現在でも新たにオービス・Nシステムが増設されており、又、調査箇所以外にもオービス・Nシステムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

●登録データ最新バージョンへの書き換え

- ・本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。（有料）
- ・最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。（<http://www.e-comtec.co.jp>）

◇液晶表示画面について

●液晶表示部は周囲の温度が約75℃以上になると液晶表示画面の全体が黒くなったり、約-10℃以下になると表示する文字、イラストが遅れて表示したり、表示した物が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶パネルの特性であって故障ではありません。周囲の温度が液晶パネルの安定動作する温度になると元の状態にもどります。

※上記の状態でも液晶表示されていない場合でもその他の機能は正常に作動します。

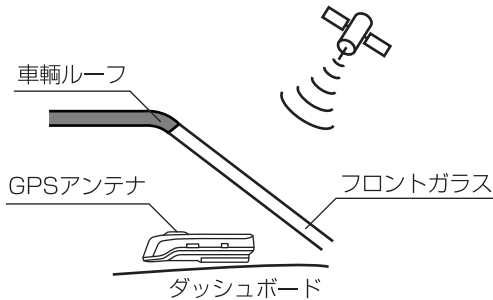
- ・液晶バックライトは青と橙の2色です。

取付け方法

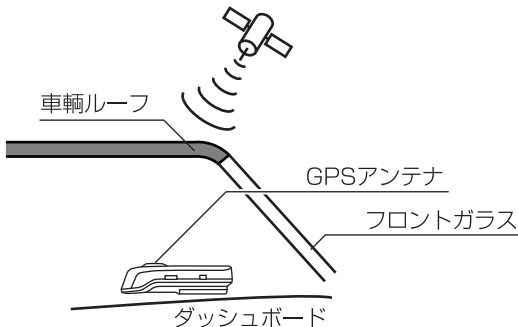
◇取付けの前に

- ・フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用下さい。
- ・運転や視界の妨げにならず、車輻の機能（エアバック等）に影響のない場所に取付けて下さい。
- ・GPSアンテナ上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意して下さい。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けて下さい。

○ 障害物がないので電波の受信ができる

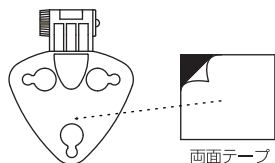


✕ 車輻ルーフによって電波が受信できない

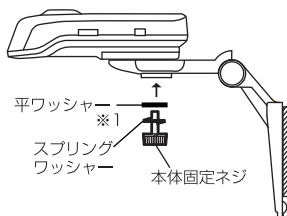


◇ダッシュボードへの取付け

- 1** ステーに両面テープを取付けます。

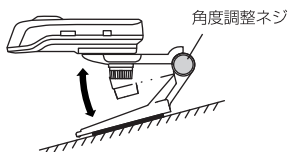


- 2** レーダー受信機本体をステーに取付けます。



※1 ワッシャーが無いと、本体がぐらつきま
ご注意下さい。

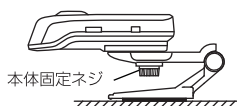
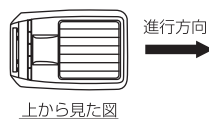
- 3** ダッシュボード上に固定します。
レーダー受信機が地面と平行になるよ
うに角度調整後、角度調整ネジを手でし
っかり締めます。



⚠ 警告

エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げに
ならない場所に取付けしてください。
誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

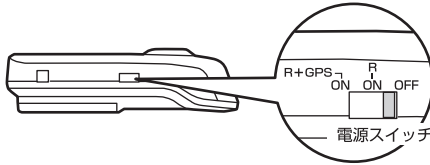
- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くよ
うに、調整した後、本体固定ネジを手でし
っかり締めます。



◇電源を入れる（電源/GPS機能ON・OFF切替スイッチの設定）

●本製品は電源のON・OFFとGPS機能（有効/無効）切替を一つのスイッチで兼用しています。

1 本製品の電源スイッチを「ON-R」又は「ON-R+GPS」（下図）のいずれかに合わせます。



スイッチ位置	動作
OFF	全ての電源OFF
R ON	レーダーのみ作動
R + GPS ON	レーダーとGPS機能作動

2 電源ランプがついて液晶画面が表示します。

●電源ランプの光りかた



シガープラグコードから電源を取った場合

本機の電源ランプが**点灯**します。

ソーラーから電源を取った場合（シガープラグコード非接続）

本機の電源ランプが**点滅**します。

○電源スイッチを「ON-R+GPS」にしてGPS機能をONに設定した場合、約数秒～数分（P8）でGPS衛星受信し、下記、音声アナウンスと液晶画面にイラスト表示を行います。

「ピンポーン 衛星を受信しました。」

GPS衛星受信した時の液晶表示



GPS衛星を受信できないと・・・

○電源がONになり電源ランプが点灯、又は点滅してから約3分間、衛星の正確な受信ができていない場合、下記、音声アナウンスを行います。

「ピンポーン 衛星を受信できません。」

※アナウンス後、衛星を受信すると「ピンポーン衛星を受信しました。」とアナウンスして衛星受信状態になります。

◇衛星を受信ができない場合、下記の原因が考えられます。

- ①フロントガラスが断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）
- ②ミラー式フィルム装着車の場合

※GPS機能についての詳しい内容はP8「GPS機能について」をご覧ください。

◇オートパワーオフ機能

- LSC-V機能の設定（P17）を行う事で車軋振動を検出してエンジン停止で駐車場等、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源が切れます。
- オートパワーオフ状態の時、エンジン始動や走行振動を検出した場合、自動的に本製品の電源が入ります。
- ※振動や騒音の激しい場所に駐車している場合は、本製品が振動を検知して電源が切れない場合があります。その場合、電源スイッチで電源を切ってください。
- ※車種によっては走行中でも低速走行や停車中に振動が検出できない状態が続く、振動検出が行えない場合はオートパワーオフ機能が働きます。
- ※シガーコードから電源供給（エンジン始動）時はLSC-i機能（P17）が作動しますがキーオフにすると電源供給がなくなり（エンジン停止）自動的にLSC-V機能に切替わります。その際、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源が切れます。

操作方法

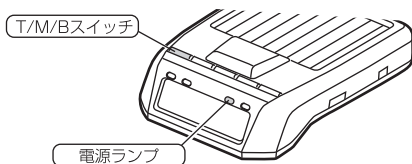
◇音量調整（ミュート機能）とバッテリー状態を確認する（T/M/Bスイッチ・音量ボリューム設定）

●T（テスト）/M（ミュート）/B（バッテリーチェック）スイッチとは

本製品がどのような警告をするのかを確認できるテストモードと、受信中の警告音を消すミュート機能とバッテリー状態を確認するバッテリーチェック機能を兼用したスイッチです。

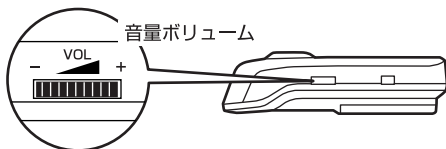
●テスト機能を使用する

- 1 電源スイッチをONにして電源ランプの点灯、又は点滅を確認してから「T/M/B」スイッチを押します。



- 2 テスト動作を行いますので、その間に音量ボリュームで適度な音量に調整して下さい。

＋側に回すと音量が大きくなり
－側に回すと音量が小さくなります



●ミュート（消音）機能を使用する

警報中、「T/M/B」スイッチを押すと警報音を消音します。ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。

●バッテリー状態をチェックする ※シガーコード非接続時のみ

電源スイッチをONにして電源ランプの点滅を確認してから「T/M/B」スイッチを長押しします。

内蔵バッテリー状態	「アナウンス」 液晶表示イラスト	本製品の受信機能
充電良好です。	「バッテリーは十分です」 	全ての受信機能は作動します。
	「バッテリーは60%です」 	
充電をお薦めします。	「バッテリーは40%です」 	GPS機能のみを停止します。
充電が必要です。	「バッテリーは20%です」 	全受信機能を停止します。

※電源ランプが点灯した状態でバッテリーチェックを行うと必ず充電良好状態になります。

操作方法

◆各機能のON/OFF設定

※工場出荷時、データリセット (P18) 時は
【おまかせモード2】 (P31) 設定です。

●本製品の各機能のON/OFFの設定ができます。各機能の設定中は音声アナウンスにてお知らせします。

■各機能の設定操作

○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

7バンド受信機能 ※1

カーロケ無線 (P27)
[R-C/▼] スイッチ ↓ ↑ [USER/▲] スイッチ

取締り用連絡無線350.1MHz (P28)
[Off] Low Hi

ヘリテレ無線 (P28)
[Off] Low Hi

署活系無線 (P29)
[Off] Low Hi

デジタル無線 (P29)
[Off] Low Hi

JH無線 (P30)
[Off] Low Hi

ワイド無線 (P30)
[Off] Low Hi

SA、PAお知らせ (P24)
[ON] OFF

チェックポイント (P24)
※警察署チェックポイントと共通
[ON] OFF

Nシステム (P23)
[ON] OFF

ASC機能 (P15/16) ※2
[AT] MT

LSC機能 (P17) ※2
[ON] OFF

アラーム警報音 (P14) ※2
[ブザー] メロディ

カーロケ無線に戻ります

※1

7バンド受信機能:内に関する設定は受信感度HI、LOW切替えが可能です。受信距離に関しましてはP26をご参照下さい。

※2

ASC機能、LSC機能、警報音の設定のしかたに関しましては各機能詳細ページをご参照下さい。

1 「ROAD」スイッチを長押しします。



例: デジタル無線設定の場合

設定モードです。
ビッピッ カーロケ無線の設定
です。現在○○※です

※○○には現在の設定内容をアナウンスします。

2 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す毎に左記の順にモードが切替わります。

[R-C/▼] スイッチ [USER/▲] スイッチ



ビッピッ デジタル無線の設定
です。現在、ロー設定です。

3 設定したいモードになりましたら「T/M/B」スイッチを押します。

[T/M/B] スイッチ



ピッ

4 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチでON/OFFなど詳細機能を設定します。

[R-C/▼] スイッチ [USER/▲] スイッチ



ハイです。

※設定する項目によって表示は異なります。

5 お好みの設定にして「T/M/B」スイッチを押して設定します。

[T/M/B] スイッチ



デジタル無線 ハイ
設定しました。

6 設定を続ける場合は2へ、終了する場合は「ROAD」スイッチを長押しするか、又は何もスイッチを押さないと約30秒後、自動的に待機モードに切替わります。

操作方法

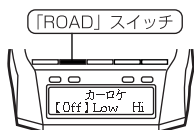
◇アラーム警報音(ブザー、メロディ)の切替え設定

●本製品の警報アラームを電子音又はメロディのいずれかに切替えることができます。各機能の設定時に音声アナウンスにてお知らせします。*全ての警報音が変わるわけではありません。

■警報音の設定操作

○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

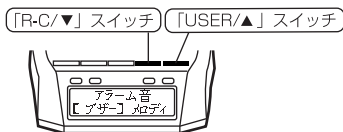
1 「ROAD」スイッチを長押しします。



設定モードです。
ピッピッ カーロケ無線の設定です。
現在、○○※です。

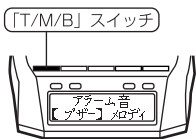
※○○には現在の設定内容をアナウンスします。

2 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す
毎に順番にモードが切替わります。



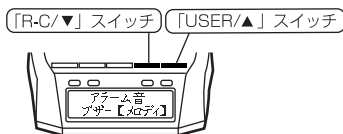
ピッピッ アラームの設定です。
現在、ブザー設定です。

3 【アラーム音】の設定モードになりましたら
「T/M/B」スイッチを押します。



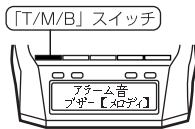
ピッ

4 お好みの設定に「R-C/▼」又は「USER/▲」
スイッチで設定します。



メロディです。

5 お好みの設定にして「T/M/B」スイッチを押
し設定します。



メロディに設定しました。

6 最後に「ROAD」スイッチを長押し終了する
か、又は何もスイッチを押さない約15秒
後、自動的に待機モードに切替わります。

◇レーダー受信感度の設定

- 本製品には、レーダー受信感度をHYPER（ハイパー）、S-HI（スーパーハイ）、HI（ハイ）LOW（ロー）の4段階に手動設定するマニュアル設定機能と、走行状況に応じて適切な受信感度を自動設定するASC機能（オート・センシティブ・コントロールの略称）を設定することができます。（各感度の警報タイミングにつきましてはP25「レーダー取締り機の受信による警報」をご覧ください。）

受信感度	液晶画面表示	適切な走行場所	走行状態
LOW（ロー）	LOW	市街地	低速走行
HI（ハイ）	HI	郊外地	中速走行
S-HI（スーパーハイ）	S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行
HYPER（ハイパー）	HYP	高速道路	高速走行

※出荷時はASC-ONの設定です。

◇マニュアル（手動）感度設定のしかた

○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

- 1 「ROAD」スイッチを長押しします。

ROADスイッチ



設定モードです。
ビープビープ カーロケ無線の設定です。
現在○○※です

※ ○○には現在設定内容をアナウンスします。

- 2 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す毎に順番にモードが切替わります。
【ASC（レーダー感度）】の設定になりましたら「T/M/B」スイッチを押します。

R-C/▼スイッチ

USER/▲スイッチ



ビープビープ ASCの設定です。
現在、オート設定です。

T/M/Bスイッチ

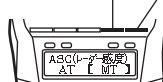


ビープ

- 3 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す毎に【AT】オート⇄【MT】マニュアルに切替わります。
【MT】マニュアルになりましたら「T/M/B」スイッチを押します。

R-C/▼スイッチ

USER/▲スイッチ



マニュアルです。

T/M/Bスイッチ



現在 ロー設定です。

- 4 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す毎に【LOW】→【HI】→【S-HI】→【HYP】の順に受信感度が切替わります。お好みの受信感度になりましたら、「T/M/B」スイッチを押します。

R-C/▼スイッチ

USER/▲スイッチ



ハイです。

T/M/Bスイッチ



ASCマニュアル
ハイ設定しました。

- 5 最後に「ROAD」スイッチを長押し終了するか、又は何もスイッチを押さないと約30秒後、自動的に待機モードに切替わります。

操作方法

◇オート感度設定のしかた（ASC機能）

○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

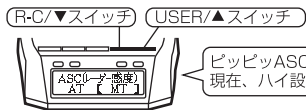
1 「ROAD」スイッチを長押しします。



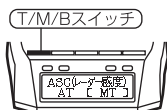
設定モードです。
ピッピッ カーロケ無線の設定です。
現在○○※です

※ ○○には現在設定中のモードをアナウンスします。

2 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す毎に順番にモードが切替わります。
【ASC（レーダー感度）】の設定になりましたら、「T/M/B」スイッチを押します。

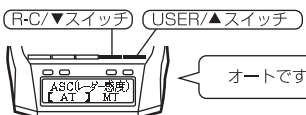


ピッピッASCの設定です
現在、ハイ設定です

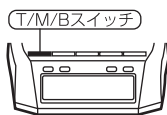


ピッ

3 「R-C/▼」又は「USER/▲」スイッチを押す毎に【AT】オート⇄【MT】マニュアルに切替わります。
【AT】になりましたら「T/M/B」スイッチを押します。



オートです



ASCオート設定しました

4 最後に「ROAD」スイッチを長押し終了するか、又は何もスイッチを押さないと約30秒後、自動的に待機モードに切替わります。

レーダー受信警報音のキャンセル ※レーダー受信感度マニュアル、オート共通

※警報画面表示



レーダー警報音
キャンセルマーク

・左記「レーダー警報音キャンセルマーク」表示中は感度設定が受信したレーダーより弱いので警報表示は行いますが、警報音は出しません。（P25）

◇ASC-V（オート・センシティブ・コントロール・バイブレーション）機能

●本製品がソーラーバッテリーで作動している場合、又は付属シガープラグコードを接続してGPS機能をOFF（P7）に設定している場合に有効になります。走行中の速度変化による振動を検出してレーダー受信感度を自動設定する機能です。

◇ASC-i（オート・センシティブ・コントロール・インテリジェンス）機能

●本製品が付属シガープラグコード接続して、GPS機能をON（P7）で作動している場合のみ有効です。GPS機能を使用して算出した自車の走行速度に応じて受信感度を自動設定します。

走行速度	受信感度
30Km/h未満	LOW（ロー）
30Km/h～60Km/h	HI（ハイ）
60Km/h～80Km/h	S-HI（スーパー・ハイ）
80Km/h以上	HYPER（ハイパー）

※GPS衛星を受信できない時（トンネルなど）はHYPER（ハイパー）感度に自動的に切り替わります。

◇振動センサーの調整 (LSC機能)

●LSC機能とは

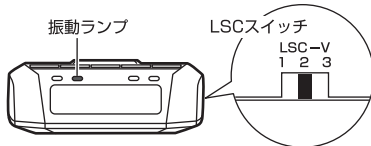
ロー・スピード・キャンセルの略称です。車が低速走行時、警告音を自動的にカットするための機能です。本製品はLSC-VとLSC-iの2通りの機能を採用しています。

◇LSC-V(ロー・スピード・キャンセル・パイブレーション)機能

●本製品がソーラーバッテリーで動作している場合、又は付属シガープラグコードを接続してGPS機能をOFFに設定している場合に有効です。駐・停車時と走行時の振動差を検出して警告音をカットします。

○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点滅している状態で設定を行って下さい。又シガーコードを接続した状態では振動ランプが点灯し下記調整はできませんので、必ずシガーコードを抜いた状態で行って下さい。

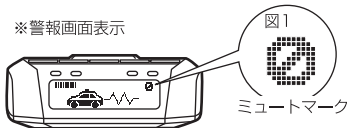
1 アイドリング状態(駐・停車時)で振動センサーランプが消灯し走行状態で、点滅するよう下記表を参照し車輻にあった状態にLSCスイッチを設定して下さい。



LSCスイッチ	振動検出感度	車輻タイプ (目安)
1	低	ディーゼル (振動の大きい車輻)
2	中	ガソリン/ディーゼル
3	高	ガソリン (振動の小さい車輻)

2 駐・停車中に本体に振動がなくなると振動ランプが消灯し、警報中の場合は図1のミュートマークを表示して警報音がミュート(消音)します。

※警報画面表示



⚠ 注意

車輻振動が極端に大きな車や、駐停車時、走行時の振動差が小さい車はLSC機能が正常に働かない事があります。本製品の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わる事があります。

●P13の設定により機能をON/OFFすることができます。設定をOFFにした場合は検出した振動に関係なく警報を行います

◇LSC-i(ロー・スピード・キャンセル・インテリジェンス)機能について

●本製品が付属シガープラグコードで接続して、GPS機能をONで動作している場合のみ有効です。GPS機能を使用して算出した自車の走行速度が30Km/h以下の場合、LSC-i機能が作動して図1のミュートマークを表示して警報音をカットします。

●P13の設定により機能をON/OFFすることができます。設定をOFFにした場合は走行速度に関係なく警報を行います。

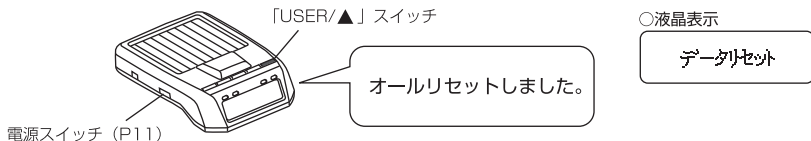
操作方法

◇データリセット(すべてのデータ消去)

●全ての登録を行ったデータをリセット(初期化)し、商品出荷時の状態に戻します。

◇データのリセット方法

・電源スイッチをOFFの状態ですべての「USER/▲」スイッチを押しながら電源スイッチを「R+GPS」に合わせます。



(警) データリセットを行うと、ユーザー登録ポイント・レーダーキャンセルポイント等の登録データは全て消去します。又、消去したデータの復元はできません。

(注) ・商品出荷時、予め登録してあるオービスポイント・Nシステムポイント・取締りエリアのデータは消去できません。
・追加データが複数ある場合、リセットするのに多少時間がかかります。

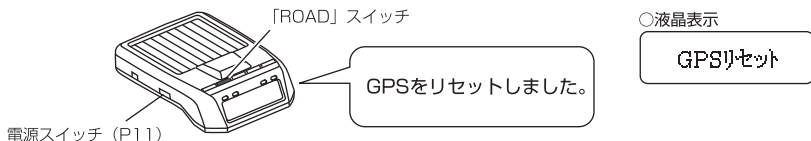
⚠ 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないで下さい。同乗者の方が操作を行って下さい。

◇衛星リセット

●本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これはトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、稀にGPS受信が長時間に渡ってできない場合、以下の操作で衛星データをリセットして下さい。

◇衛星データのリセット方法

・電源スイッチをOFFの状態ですべての「ROAD」スイッチを押しながら電源スイッチを「R+GPS」に合わせます。



⚠ 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないで下さい。同乗者の方が操作を行って下さい。

◇登録データ更新について

●本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。(有料)

最新バージョンデータのリリースについては販売店・コムテックホームページにてお知らせ致します。
(<http://www.e-comtec.co.jp>)

◇ロードセレクト機能 ※電源スイッチ（P11）が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

- 高速道路上の登録ポイントのみ警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上の登録ポイントのみ警報を行う「シティーモード」、高速、一般道路両方のすべての登録ポイントの警報を行う「オールモード」を選択します。

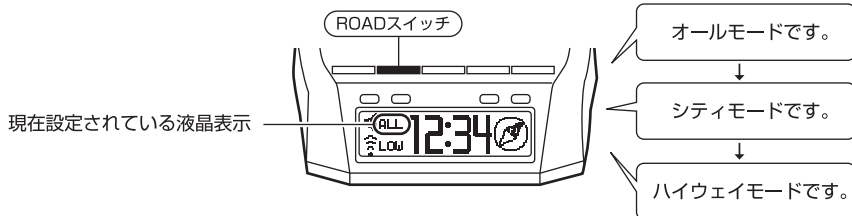
※出荷時の初期設定はオールモードです。

・レーダー波、7バンド+パトロールエリアはロードセレクト機能に関係なく各設定により警報を行います。

■ロードセレクト機能の設定操作

○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

- 1 「ROAD」スイッチを押す毎に **オール → シティー → ハイウェイ** の順に設定されます。



- 2 下記表を参照し、走行条件に合わせたROADセレクトモードを設定して下さい。

ROADセレクトモード	液晶表示	警報を行う道路
オールモード	ALL	一般道路／高速道路
シティーモード	CTY	一般道路のみ
ハイウェイモード	HWY	高速道路のみ



シティーモード設定中、走行時速が80km/hを超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると「モード確認をして下さい。」とアナウンスします。

※シガーコード接続時のみ

操作方法

◇ユーザー登録ポイント追加機能

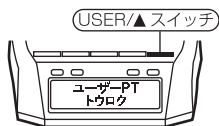
※電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

●ユーザー登録ポイントの追加とは

本製品に未登録又は新たに設置されたオービスを任意に100件まで追加登録できます。

ユーザー登録ポイントを追加する

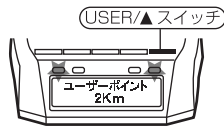
登録地点を走行中、GPS警報を行っていない時に「USER/▲」スイッチを押すとアナウンスが流れ登録されます。



ユーザーポイント登録しました

ユーザー登録ポイントを解除する

登録地点を走行し、GPS警報中に「USER/▲」スイッチを長押しするとアナウンスが流れ登録が解除されます。



ユーザーポイント解除しました

◇オービス警報キャンセル機能

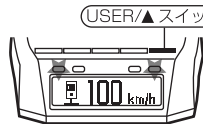
※電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

●警報キャンセルとは

GPSデータに登録されている、ポイントの警報音を一件単位でキャンセル設定（消音）することができます。登録する時にユーザー登録スイッチを長押しすると登録できませんのでご注意ください。

警報キャンセルを設定する

キャンセル設定地点を走行しGPS警報中に「USER/▲」スイッチを押すとアナウンスが流れ警報キャンセルポイントを登録します。

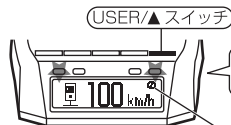


キャンセルしました

※追加したユーザー登録ポイントと予め登録してあるオービスポイント・Nシステムで設定ができます。

警報キャンセルを解除する

キャンセル地点を走行し警報画面のミュートマークが点灯中「USER/▲」スイッチを押すとアナウンスが流れ登録を解除します。



キャンセル解除しました

ミュートマーク

ユーザー登録ポイント追加、オービス警報キャンセルができない場合・・・

- ・GPS衛星が受信できないと”GPSサーチ中”とアナウンスが流れ【GPSサーチ】と表示されます。
- ・電源スイッチ(P11)でGPS機能をOFFにしている場合だと”ブー”と音がします
- ・一度登録した場所に再度、登録しようとした場合、”登録できません”とアナウンスが流れ【トウロクできません】と表示されます
- ・ユーザー登録ポイントを100件以上登録した場合、”メモリーフルです”とアナウンスが流れ【メモリーフル】と表示されます。

⚠ スイッチ操作をする時に本体のGPSアンテナを手で隠すと衛星を受信できませんのでGPSアンテナを隠さないように操作して下さい。

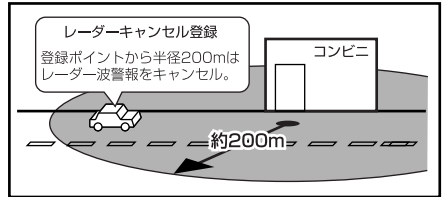
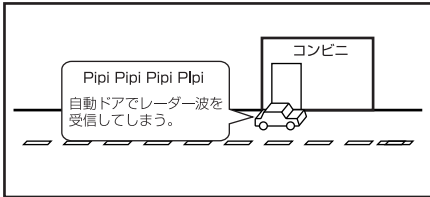
◇レーダーキャンセル機能

※電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

- 自動ドア等、レーダー波と同じ周波数の電波を受信してしまう場所等を予め登録 (50件まで) すれば、約200m以内のレーダー警報をキャンセル (消音) します。

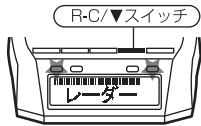
※GPS電波が受信できていない状態では、登録できません。

※登録する時にR-Cスイッチを長押しすると登録できませんのでご注意ください。



レーダーキャンセルを登録する

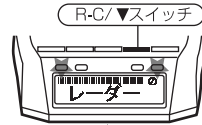
レーダー警報時に「R-C/▼」スイッチを押すとアナウンスが流れ登録されます。



レーダーキャンセルポイント登録しました。

レーダーキャンセルを削除する

レーダーキャンセル登録地点走行時、警報音が出ず警報画面が表示中「R-C/▼」スイッチを長押しするとアナウンスが流れ登録が消去されます。



レーダーキャンセルポイント消去しました。

レーダーキャンセルができない場合・・・

- ・レーダー (ステルス含む) 受信中でもGPS衛星が受信できないと「GPSサーチ中」とアナウンスが流れ「GPSサーチ」と表示されます。
- ・レーダー (ステルス含む) 受信中でも電源スイッチ (P11) でGPS機能をOFFにしている場合だと「ブー」と音がします。
- ・一度登録した場所に再度、登録しようとした場合、「登録できません」とアナウンスが流れ「トゥロクできません」と表示されます
- ・レーダーキャンセルを50件以上登録した場合、「メモリーフルです」とアナウンスが流れ「メモリーフル」と表示されます。

⚠ スイッチ操作をする時に本体のGPSアンテナを手で隠すと衛星を受信できませんのでGPSアンテナを隠さないように操作して下さい。

警報について (GPS)






◇オービス、ユーザー登録ポイント警報 (GPSスピードガンinfo)

※電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

●オービスポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。

※対向車線上のオービスへの警報は行いません。










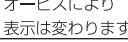


警報を行う距離 (注) GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができません。

約2km※ (高速道路のみ)	約1km	約500m	約200m	オービス
				
ボイス警報 ワーニングランプ (緑おそい点滅)	ボイス警報 ワーニングランプ (緑ややおそい点滅)	ボイス警報 ワーニングランプ (緑点滅)	アラーム/メロディー ※警報時間: 約10秒間 ワーニングランプ (緑点滅)	

(注) ※約2km地点での警報は、シガープラグコードを接続した状態でロードセレクト機能が (P19) ハイウェイまたはオールモードで使用の場合のみ行います。

警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

○オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の内容

オービス種類	ボイス内容	液晶表示内容
ループコイル 光電管	ピンボーン 約(2km・1km・500m)先 (高速道路上)ループコイルがあります。 時速は約※〇〇km/hです。	 ※1 0km/h ⇄  交互に表示
LHシステム	ピンボーン 約(2km・1km・500m)先 (高速道路上)LHシステムがあります 時速は約※〇〇km/hです。	 ※1 0km/h ⇄  交互に表示
Hシステム	ピンボーン 約(2km・1km・500m)先 (高速道路上)Hシステムがあります。 時速は約※〇〇km/hです。	 ※1 0km/h ⇄  交互に表示
レーダー	ピンボーン 約(2km・1km・500m)先 (高速道路上)レーダーがあります。 時速は約※〇〇km/hです。	 ※1 0km/h ⇄  交互に表示
トンネル出口 付近	ピンボーン トンネル出口※□□□があり ます。時速は約※〇〇km/hです。	 ※1 0km/h ⇄  交互に表示
ユーザー登録 ポイント(P20)	ピンボーン 約(2km・1km・500m)先 (高速道路上)ユーザー登録ポイント があります。時速は約※〇〇km/hです。	 ※1 0km/h ⇄  交互に表示

※〇〇部に警報アナウンス時の時速をお知らせします。

※□□□部にオービス種類をアナウンスします。

※1.現在の走行時速を表示します。

※2.オービスまでの予測距離を表示します。



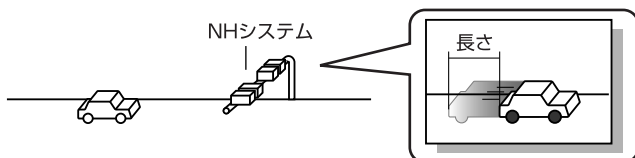
アナウンスの時速はアナウンスした時の時速で液晶表示される時速は現在の走行している時速なのでアナウンス時速と表示される時速は違う場合があります。

警報について (GPS)

◇Nシステム/NHシステム警報と設定 (N/NH SYSTEM info) *電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

●NHシステムとは

通過車輛を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車輛識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



●Nシステム/NHシステム設定

すべてのNシステム機能（警報）をP13の設定によりON/OFFすることができます。


●Nシステム/NHシステムポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。

※対向車線上のNシステム/NHシステムへの警報は行いません。

○警報を行う距離 (注) GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができません。



○警報の内容 ※本製品は、NHシステムをNシステムとして警報を行います。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピンポーン この先（高速道路上に） Nシステムがあります。 <small>※（ ）内の言葉は、高速上のNシステム/NHシステム 警報時にアナウンスします。</small>	橙点滅	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Nシステム </div>  交互に表示

(注) 警報を行う距離は、対象とするNシステム/NHシステムからの直線距離です。道路の高低差カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

警報について (GPS)



◇チェックポイントによる警報 (トラップポイントinfo) ※電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

- 速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録しており、チェックポイントに接近すると約1Km手前で注意をお知らせし離れば回避をお知らせします。
- P13の設定により機能をON/OFFすることができます。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピンポーン チェックポイントに接近 ご注意ください。	消灯	 
ピンポーン チェックポイント 回避しました。	消灯	 

◇警察署チェックポイント警報 (ポリスロケートinfo) ※GPS機能とチェックポイント警報をONに設定し、電源をシガーコード接続した場合のみ自動的に設定されます。





- 本機に登録されている警察署付近に接近 (約300m) するとお知らせします。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピンポーン チェックポイントに接近 ご注意ください。 アナウンスの後に専用メロディ音がです。	消灯	 

- ※警報音の設定 (P14) がアラーム音でも専用のメロディが鳴ります。
- ・警察署チェックポイントのみのON/OFF設定はありません。
- ・アナウンス後のメロディ音を消すことはできません。

◇サービスエリア・パーキングエリア警報 (SA/PA info) ※電源スイッチ (P11) が「ON-R+GPS」のみ作動する機能です。

- 全国的高速道路にあるサービスエリア又はパーキングエリアの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると2Km手前でお知らせします。

種類	ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
パーキングエリア	ピンポーン 約2Km先 パーキングエリアがあります。	消灯	 
サービスエリア	ピンポーン 約2Km先 サービスエリアがあります。	消灯	 

- ※ロードセレクト機能 (P19) がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

警報について (レーダー)

◇レーダー式取締り機の受信による警報

●レーダー式取締り機 (P34) に接近した場合、下記の様に警報を行います。

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)			
液晶表示		<p>※レベルメーターは下記図の用に変化します。</p>	
液晶レベルメーター			
ワーニングランプ (赤)			
アラーム音	受信感度	<p>LOW</p> <p>HI</p> <p>S-HI</p> <p>HYPER</p>	
	<p>警報音が鳴らない</p> <p>※警報音が鳴らない時は液晶表示部右上にマーク (P16) が表示されます。</p>		<p>警報音が鳴る</p>
	<p>ステップアラームのタイミング</p> <p>メロディーの場合は、テンポは変わりません</p>		
<p>ピッピッ・・・ピッピッ・・・ (スローテンポ・アラーム)</p> <p>ピッピッ・ピッピッ・ピッピッ (アップテンポ・アラーム)</p> <p>♪ ~ メロディー ~ ♪</p>			
ステルス波受信 (P34)	液晶表示	<p>※レベルメーターは常にフルの状態に変化しません。</p>	
	警報音	<p>ピッピッピッピッ・・・</p> <p>連続アラーム音が鳴ります。</p> <p>※メロディー設定の場合はテンポは変わらず警報を行います。</p>	

(注) レーダー警報中の場合でも、GPS警報を優先します。
レーダー警報中に7バンド (カーロケ無線、取締り用連絡無線 (350.1MHz)、ヘリテレ無線、署活系無線、デジタル無線、JH無線、W.I.D.E (ワイド) 無線) を受信しても警報は行いません。

警報/設定について (7バンド+パトロールエリア)

◇7バンド受信切り替えについて

●本製品は、カーローケーターシステム受信、デジタル無線受信、350.1MHz受信、ヘリテレ受信、署活系無線受信、JH無線受信、W.I.D.E (ワイド) 受信の受信感度をOFF、LOW、HIに設定することができます。

※7バンド受信を行う場合、内蔵バッテリーの消費電力が増加するためシガープラグコード接続でのご使用をお薦めします。
注意.放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合はデジタル無線の受信をする場合があります。

○7バンド受信距離設定 各設定方法はP13を参照して下さい。

設定	受信種類	受信距離
Off	警報は行いません	
Low	カーロケ/350.1/デジタル/署活系/JH/W.I.D.E (ワイド)	約500m
	ヘリテレ無線	約1000m
Hi	カーロケ/350.1/デジタル/署活系/JH/W.I.D.E (ワイド)	約1000m
	ヘリテレ無線	約2000m

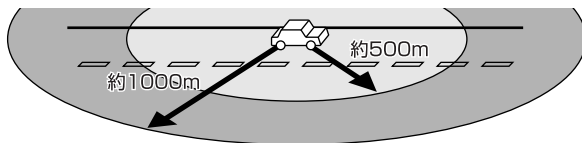
○警報画面 ※カーロケの場合



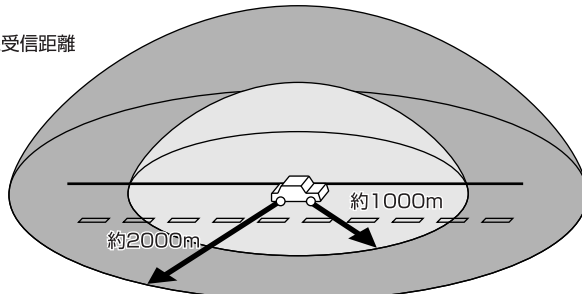
レベルメーター

・7バンド+パトロールエリアは受信電波の強さによってレベルメーターが4段階に変化します。

○カーロケ/350.1/デジタル/署活系/JH/W.I.D.E (ワイド)



○ヘリテレ無線受信距離



注・受信感度 (距離) は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

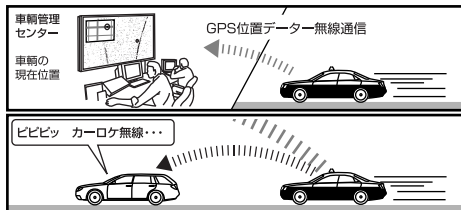
・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境 (電波状況) によって受信感度 (距離) が短くなる場合があります。

警報/設定について (7バンド+パトロールエリア)

◇カーロケ受信警報

●カーロケーターシステムとは

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的(間欠)に各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車輛からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。







現在、緊急車輛の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的(間欠)に各本部に送信するカー・ロケーターシステムを装備しています。

本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

- (注) ・一部地域または、一部緊急車輛には、カー・ロケーター・システムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
 ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
 ・緊急車輛は走行状態(緊急走行、通常走行、駐停車)によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
 ・緊急車輛がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
 ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車輛の接近に関わらず受信する事があります。
 ・本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

●カーロケ受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

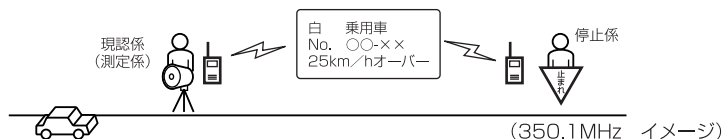
◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」	ワーニングランプ	液晶表示内容
◇弱いカーロケ電波を受信した場合 「ビビッ カーロケ無線を受信しました。」	消灯	 交互に表示
◇突然強いカーロケ電波を受信した場合 「ビビッ 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	消灯	 交互に表示
◇一度、受信した電波より30秒以内に強いカーロケ電波を受信した場合 「ビビッ 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	消灯	 交互に表示
◇一度、カーロケ電波を受信して、数分間受信しなかった場合 「ピー カーロケ無線を回避しました。」	消灯	 交互に表示

警報/設定について (7バンド+パトロールエリア)

◇取締り用連絡無線 (350.1MHz) 受信警報

●取締り連絡無線 (350.1MHz) とは

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



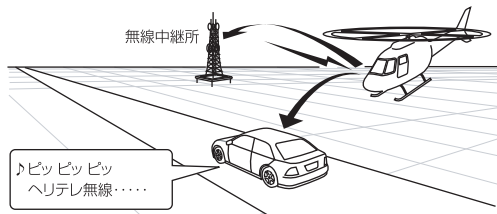
ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピピピッ 350.1無線を受信しました。 ご注意ください。	消灯	交互に表示

・走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P13、26参照。

◇ヘリテレ無線受信警報

●ヘリテレ無線とは

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察所属のヘリコプターから全国にある無線継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。本製品は警察所属のヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、音声とアラームで警報を行い、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。



- (注)
- ・一部地域または、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
 - ・ヘリテレ無線はヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
 - ・送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピピピッ ヘリテレ無線を受信しました。 ご注意ください。	消灯	交互に表示



・走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P13、26参照。

警報/設定について (7バンド+パトロールエリア)

◇署活系無線受信警報

●署活系無線とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で約134chの電波を受信します。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ビビッ 署活系無線を受信しました ご注意ください。	消灯	  交互に表示







・走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P13、26参照。

◇デジタル無線受信警報

●デジタル無線とは

各警察本部と移動局（緊急車輛等）が行う無線交信で、159MHz帯～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞く事はできませんが、音声と、ランプで警報を行い付近を走行する緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

●デジタル無線受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇デジタル無線受信状況 「ボイス内容」	ワーニングランプ	液晶表示内容
◇弱いデジタル電波を受信した場合 「ビビッ デジタル無線を受信しました。」	消灯	  交互に表示
◇強いデジタル電波を受信した場合 「ビビッ 近くのデジタル無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	消灯	  交互に表示
◇一度、受信した電波より30秒以内に強いデジタル電波を受信した場合 「ビビッ デジタル無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	消灯	  交互に表示



・走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P13、26参照。

警報/設定について (7バンド+パトロールエリア)

◇JH無線受信警報

●JH無線とは

JH (日本道路公団) が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車輜と本部との連絡に使用します。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピピピッ JH無線を受信しました。	消灯	  交互に表示







・走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P13、26参照。

◇W.I.D.E (ワイド) 無線受信警報

●W.I.D.E (ワイド) 無線とは

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336~338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話 (移動警電) とも言います。

●W.I.D.E (ワイド) 無線受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇W.I.D.E (ワイド) 無線受信状況 「ボイス内容」	ワーニングランプ	液晶表示内容
◇弱いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ ワイド無線を受信しました。」	消灯	  交互に表示
◇強いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのワイド無線を受信しました 緊急車輜にご注意下さい。」	消灯	  交互に表示
◇一度、受信した電波より30秒以内に強いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ ワイド無線を受信しました 緊急車輜の接近にご注意下さい。」	消灯	  交互に表示



・走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P13、26参照。

◇パトロールエリア受信警報 (パトロールエリアinfo)

●パトロールエリアとは

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

※必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

ボイス内容	ワーニングランプ	液晶表示内容
ピピピッ パトロールエリアです ご注意下さい。	消灯	  交互に表示

・パトロールエリア受信の設定や受信感度の調整はありません。カーロケ無線、署活系無線、デジタル無線、ワイド無線の内2つ以上の設定がONになっていないとパトロールエリア警報は行いません。

◇おまかせ機能

●おまかせ機能とは

ボタン操作により一般的によく使用する機能設定をONにしたモードとすべての機能の設定をONする2種類のモードを用意しています。設定が面倒な時にご使用して下さい。

おまかせ機能を 設定 する

電源スイッチ (P11) をONにし電源ランプが点灯、又は点滅を確認して待機モード中 (警報中以外) に、「OMAKASE」スイッチを長押しします。下記のような音声アナウンスが流れおまかせモードが設定され再度同じ操作でモードが変更します。

●おまかせモード 1



お任せモード設定します。

●おまかせモード 2



「OMAKASE」スイッチを長押しするたびにモードが繰り返し変更します。



オールモードです。

注意.おまかせ機能を一度設定すると以前に設定した状態には戻りませんので注意して下さい。

●おまかせモード 1

下記表の設定になります

機能名称	設定内容
カーロケ、取締り用連絡無線 署活系、デジタル無線	HIに設定
チェックポイント機能	ON
ASC機能	ON (オート)
LSC機能	ON
ロードセレクト機能	オールモード
警報アラーム	電子音
上記機能以外	全てOFF

●おまかせモード 2

すべての設定 (P13) が ON 又は HI になります。

※ASCはオート、警報アラームは電子音になります。

便利な機能

◇時計表示機能 ※シガーコード接続が必要です。

- 本機には、GPSの時間DATA情報を利用して現在の時刻を表示することができます。
※時刻の設定はありません。

◇時計表示のしかた

電源が「GPS + R」ONになっていることを確かめてから「R-C/▼」スイッチを長押しします。



※衛星のデータを利用する為、時刻の設定はありません。

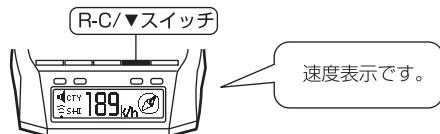
- ・GPS情報によっては現在の時刻と本機の時間に誤差が生じることがありますがこれは故障ではありません。また、GPSが受信できないと、時計表示されません。

◇速度表示機能 ※シガーコード接続が必要です。

- 本機には、GPSの位置DATA情報を利用して車速を表示することができます。

◇速度表示のしかた

電源が「GPS + R」ONになっていることを確かめてから「R-C/▼」スイッチを長押しします。

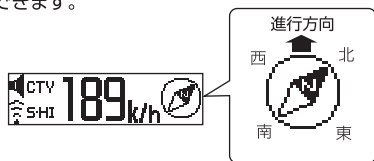


※GPSのデータによって速度を算出しておりますので、車輛の速度メーターと、表示速度が異なる場合があります。

- ・GPSが受信できないと、速度表示が変化しません。
- ・時速10Km/h以下の時は正確な車速が表示されない場合があります。
- ・GPSの受信が不安定な場所（高架下、ビルの間等）では正確な車速が表示されない場合があります。

◇コンパス機能 ※シガーコード接続が必要です。

- 本機には、GPSの位置DATA情報を利用して走行中に車輛の進行方向（8方位）を表示することができます。



現在、**自転車**にたいしてのどちらが**北側**が表示します。

⚠ 自転車の進行方向の表示はしていません。

※GPSが受信できないと、コンパス表示しません。

- ・時速10Km/h以下の時は正確な表示がされない場合があります。
- ・GPSの受信が不安定な場所（高架下、ビルの間等）では正確な表示がされない場合があります。

◇オートディマー機能

- GPS情報と太陽光の強弱によって自動的に電源ランプ、振動ランプ、ワーニングランプの表示の明るさ、液晶表示のバックライトのON/OFFを調整します。

○GPS情報を利用した場合のオートディマー作動時刻

時 期	オートディマー作動時刻
4月～10月	18：00～5：00
11月～3月	17：00～6：00

○ソーラーパネルを利用した場合のオートディマー

- ・ソーラーパネル（P4）の発電量を利用して、明るさや液晶画面のON/OFFを調整します。

※液晶画面のバックライト表示の条件はP7の「液晶バックライト」の欄を参照して下さい。

◇オートボリュームダウン機能

- 本機がレーダー受信警報してから約15秒後に、警報音を自動でボリュームをダウンします。一度警報が解除されると元の警報音に戻ります。

◇ディスプレイモード（販売店向け）※シガーコード接続が必要です。

- 本機の一連の動きをデモンストレーションします。本機をディスプレイとして展示する場合等に設定を行って下さい。

- 1 付属シガープラグコードを本機に接続し電源スイッチをOFFにします。

電源ジャック（P6）

※シガープラグコードを接続しないとディスプレイモードは行いません。

電源スイッチ（P11）



- 2 本機の「R-C/▼」スイッチと「USER/▲」スイッチを同時押しした状態で本機の電源スイッチをONにします。



◇同じ操作を行うとディスプレイモードを解除します。

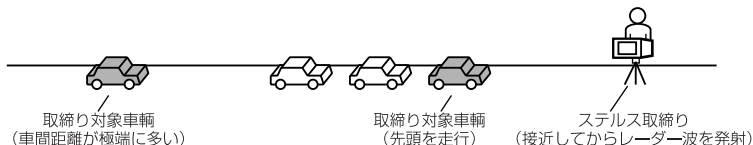
取締りの種類と方法

◇レーダー式の取締り

●代表的なレーダー式取締りについての説明。

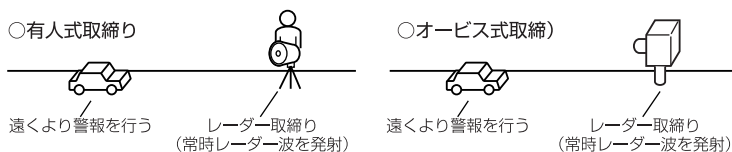
(1) ステルス式取締り方法 (有人式取締り)

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を受信する場合もあり、注意が必要です。



(2) レーダー式取締り方法 (有人式取締り / オービス式取締り)

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



(3) 新Hシステム式取締り方法 (オービス式取締り)

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



(4) 移動オービス式 / パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。(注) 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

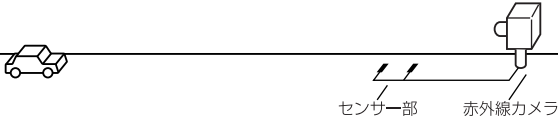
取締りの種類と方法

◇レーダー式以外の取締り

●代表的なレーダー式以外取締りについての説明。

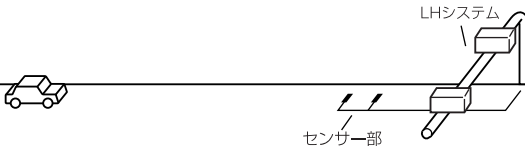
(1) ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車輛の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



(2) LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

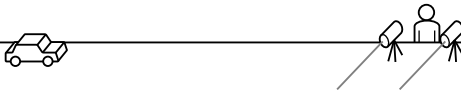
速度計測部がループコイル方式で、違反車輛の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでしたが、本製品では位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



(3) 光電管式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車輛を特定します。オービス式の場合は本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

○有人式取締り



(4) 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車輛間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し記録します。

その他

◇故障かな？と思ったら

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない 電源ランプがつかない	●電源スイッチはオンになっていますか？ ●十分な充電がしてありますか？	11ページ 6ページ
GPS衛星を受信しない	●電源スイッチが「ON-R+GPS」になっていますか？ ●本体は正しく取り付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	11ページ 9ページ 9ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●ロード設定は正しく設定してありますか？ ●LSC-V/LSC-i機能が作動していませんか？	12ページ 19ページ 17ページ
GPS警報をしない 場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・Nシステム以外の取締り機ではありませんか？ ●Nシステム警報がキャンセルしていませんか？ ●新たに設置されたオービス・Nシステムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？	9ページ 22ページ 22/23ページ 23ページ 23ページ 20ページ
レーダー警報をしない 場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？	35ページ 21ページ 25ページ
無線を受信しない 場合	●対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車両ですか？ ●各無線の設定はONになっていますか？	27ページ 13ページ
LSC-V/LSC-i 機能が働かない	●LSC-V/LSC-i機能は正しく設定してありますか？	17ページ
ASC-V/ASC-i 機能が働かない	●ASC-V/ASC-i機能は正しく設定してありますか？	15/16ページ
ユーザーメモリー の登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●オービス・Nシステムあわせて101件以上を登録していませんか？	9ページ 20ページ
レーダーキャンセル の登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●51件以上を登録していませんか？	9ページ 21ページ

●製品仕様

電源電圧	DC12V専用	受信方式	パラレル16ch ダブルスーパーヘテロダイナ
最小消費電流	10mA	測位更新時間	最短1秒
最大消費電流	200mA	検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
受信周波数	●GPS (1575.42MHz) ●Xバンド (10.525GHz) ●Kバンド (24.200GHz) ●取締り用連絡無線 (350.1MHz) ●カーロケーターシステム (407MHz帯) ●デジタル無線 (159MHz帯～160MHz帯) ●ヘリテレ無線 (340MHz帯) ●署活系無線 (347MHz帯～348MHz帯 361MHz帯～362MHz帯) ●JH無線 (383MHz帯) ●ワイド無線 (336MHz帯～338MHz帯)	動作温度範囲	-10℃～60℃
		連続作動時間	70時間（おまかせモード設定時で無警報状態）
		本体サイズ	77 (W) ×112 (L) ×28 (H) /mm (突起部除く)
		重量	180g

本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。予めご了承ください。

さくいん

1/A

350.1MHzの警報	28
7バンド受信について	26
ASC-V/i	15/16
GPSについて	8
JH無線の警報	30
LSC-V/i	17
N/NHシステムの警報	23
SS-063	3
SS-065	6
W.I.D.E無線の警報	30

あ

衛星リセット	18
オートセンシティブコントロール	15/16
オートディマー	33
オートパワーオフ	11
オートボリュームダウン	33
オービス警報	22
オービス警報キャンセル登録/解除	20
お任せ機能	31
音量調整	12

か

カーロケーターの警報	27
警告	2
警察署ポイントの警報	24
警報音の設定	14
故障かな	36
コンパス表示機能	33

さ

サービスエリアのお知らせ	24
充電方法	6
仕様	36
使用上の注意	2/3
署活系無線の警報	29
振動センサーの調整	17
設定のON/OFF	13
速度表示機能	32

た

チェックポイントの警報	24
ディスプレイモード	33
デジタル無線の警報	29
データ更新	18
データリセット (全てのデータ)	18
電源を入れる	11
取締の種類	34/35
取締用連絡無線の警報	28
時計表示機能	32
取付け	9/10

は

パーキングエリアのお知らせ	24
バッテリーチェック	12
パトロールエリアの警報	30
付属品	5
ヘリテレ無線の警報	28
保証	37

ま

名称	4/5
----	-----

や

ユーザー登録ポイント追加/削除	20
ユーザー登録の警報	22

ら

レーダーキャンセル登録/解除	21
レーダー受信感度	15/16
ロースピードキャンセル	17
ロードセレクト機能	19
ローバッテリーサイン	6

わ

ワイド無線の警報	30
----------	----